

みずほCustomer Desk Report 2018/09/03 号(As of 2018/08/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.06
TKY 9:00AM	111.02	1.1665	129.51	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.14	1.1691	129.84	1.3012	0.7262
SYD-NY Low	110.69	1.1585	128.55	1.3028	0.7268
NY 5:00 PM	111.11	1.1605	128.98	1.2945	0.7177
				1.2961	0.7193
NY DOW	25,964.82	▲ 22.10	日本2年債	-0.1200	▲ 1.00bp
NASDAQ	8,109.54	21.17	日本10年債	0.1000	▲ 1.00bp
S&P	2,901.52	0.39	米国2年債	2.6270	▲ 2.43bp
日経平均	22,865.15	▲ 4.35	米国5年債	2.7374	▲ 1.35bp
TOPIX	1,735.35	▲ 3.79	米国10年債	2.8595	0.17bp
シカゴ日経先物	22,825.00	85.00	独10年債	0.3275	▲ 1.70bp
ロンドンFT	7,432.42	▲ 83.61	英10年債	1.4270	▲ 2.45bp
DAX	12,364.06	▲ 130.18	豪10年債	2.5190	▲ 4.05bp
ハンセン指数	27,888.55	▲ 275.50	USDJPY 1M Vol	6.71	▲ 0.19%
上海総合	2,725.25	▲ 12.49	USDJPY 3M Vol	7.36	▲ 0.12%
NY金	1,206.70	1.70	USDJPY 6M Vol	7.75	▲ 0.03%
WTI	69.80	▲ 0.45	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	192.96	0.15	EURJPY 3M Vol	8.96	0.22%
ドルインデックス	95.14	0.42	EURJPY 6M Vol	9.22	0.19%

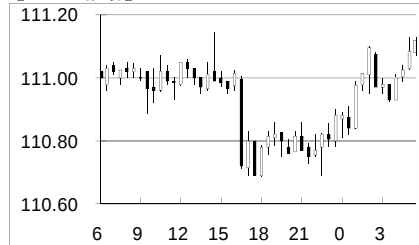
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月31日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	7月 -0.1%/2.3%	0.2%/2.7%
	10:00	中 非製造業PMI	8月 54.2	53.7
	10:00	中 製造業PMI	8月 51.3	51.0
	15:00	独 小売売上高(前月比/前年比)	7月 -0.4%/0.8%	-0.2%/1.3%
	18:00	欧 失業率	7月 8.2%	8.2%
	18:00	欧 コアCPI	8月 1.0%	1.1%

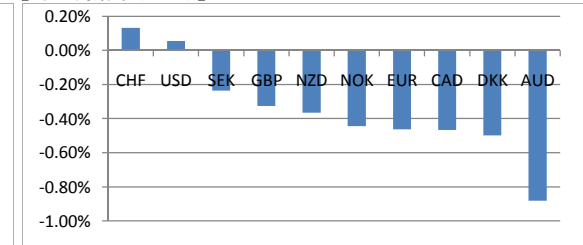
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月3日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	7月 0.3%	0.4%
	10:45	中 Caixin製造業PMI	8月 50.7	50.8
	14:40	日 黒田日銀総裁講演	-	-
休場		米国、カナダ		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.1550-1.1650	128.50-129.50

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は下に行きつて来いの展開となった。米中貿易摩擦懸念が再燃したことやトランプ米大統領がWTOの脱退を警告したことからドル円は一時110.69まで下落。しかしその後はユーロ圏8月CPIが予想対比悪化したことや月末のドル買い需要から対ユーロでのドル買いが加速したことでドル円は111円台まで反発した。本日のドル円は動意に欠ける展開を予想する。トランプ米大統領の保護主義政策には依然と警戒は必要であるものの、本日は米国が労働祭のため祝日であることから市場参加者が減少する中、大きく相場が動く可能性は低いだろう。110円台後半から111円台半ばでのレンジを想定したい。

東京	ドル円は111.02レベルで東京時間をスタート。海外時間にトラフ米大統領が2,000億ドル相当の中国製品に対する追加関税を発動する準備を進めていると報じられたことから、米中貿易戦争への懸念の高まりに、安寄りした日経平均株価が下げ幅を拡大させると一時110.89まで下落。しかし、市場予想を上回った中国8月製造業PMIなどを背景に、日経平均が反発するのを横目にドル円はすぐに111円台を回復。ECB理事会メンバーの「ポトニー・オーストリア中銀総裁が「ドルの優位性に対抗するために、欧州の単一資本市場の確立にむけて取組みを加速する必要がある」と述べたことを受けて、ユーロ買いが強まることとユーロ円が上昇する中、ドル円も連れ高の展開となり、111.14まで延伸。その後は111円近辺での取引が継続し、110.97レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.97レベルでオープン。トランプ米大統領が、WTOからの脱退を警告し、中国追加関税が来週にも発動する見通しが伝わる中、リスク回避の円買いが優勢。110.69まで売られ、110.78レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1681レベルでオープン。トルコ当局がリテラシーと外貨預金の税制を変更したことを受けリテラシーが対ドルで大きく反発する中、ユーロも買いが優勢。ポトニー・オーストリア中銀総裁が「イタリアの混乱を理由に利上げを遅らせるべきではない」と発言したことと支援し、1.1690まで堅調に推移。しかし、レン・フィンランド中銀副総裁が、緩和政策の継続を唆すると1.1644に反落。1.1652レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3022レベルでオープン。仏外交官がソテール離脱を唆したことと1.2993まで売られるも、米飲料大手の英社買収フローの思惑から下げ渋る。しかし、EU報道官が「アイルランド国境問題が未解決であることに触れると、1.2966まで下落。1.2989レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は110.78レベルでNYオープン。朝方も円買い優勢で再び海外時間安値の110.69まで下落する。その後、対ユーロのドル買いにサポートされ、ドル円はじりじりと上昇し111.08を付ける。終盤は米金利の上昇を受けて、111.13まで戻し、111.11レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1652レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引継ぎ1.1626まで下落する。その後1.1649まで戻すが、米中貿易摩擦のみならず、米・EU間の通商協議も滞っている中(トランプ大統領は自動車関税を双方ゼロにするEUの提案を拒否。またEUは米国が自動車関税を発動した場合、同様の報復措置をとると表明)、ユーロドルは再び下落し、1.1600を割り込み安値1.1585まで続落。その後は米3連休を控える中、終盤は1.1600近辺で推移し、格付会社大手が「イタリアの格付け見直しを「ネガティブ」に引き下げたが、市場参加者が少ない中、ユーロの反応は限定的となり、1.1605レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:田家